



浦町中だより

令和4年度 第10号

令和 5年 1月26日(木)
浦町中学校発行 文責：校長

保護者、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に御理解・御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。現在、学校を取り巻く様々な教育課題が山積しています。本校では保護者や地域の皆様と協働し、ICTや地域の人材・環境を活用した新たな学びのスタイルを目指してきました。学校は、子どもたちの夢と希望を育む「子どもファースト」の場であり、民主主義の土台を創る学びの杜でなければなりません。引き続き、ふるさと青森を担う子どもたちと学び舎浦町中への御支援・御協力をお願いいたします。結びに本年も皆様にとりまして、希望に満ちた実り多き年になりますようお祈り申し上げます。

『三兎を追い』自らを高め、しっかり形に残す令和5年度に～始業式校長式辞

令和5年、今年の干支は癸卯です。「二兎を追う者は一兎をも得ず」という諺がありますが、今年は敢えて「三兎を追う」年にしてほしいと思います。三兎が意味するものは、1・2年生は「学習」二「行事」三「生徒会活動や部活動」です。3年生は「志望校合格と進路達成」二「卒業式」三「立身」です。中学校3年間という限られた時間の中で、周りの仲間とともに学習や行事、生徒会活動、部活動など助け合って過ごす時間は、皆さんの成長にとって大きな影響を与えてくれます。充実した学校生活を送ろうと全力投球することで得られる学びや喜びもあります。そんなキラキラと輝く皆さんを支援していきたいと考えます。望まなければ叶えられません。自分から諦めることなく、もっと欲張ってみましょう。



さて、今学期のテーマは『「なりたい自分」を形にする』です。学習や部活動、性格や行動、習い事や特技など、十人十色でなりたい自分があるはず。行動あるのみ、実践重視で一步を踏み出しましょう。最後に笑って終われるように、特別のことではなく当たり前のことを極めていくことが大事です。

令和5年度の浦町中学校の教育活動を設計しています～学校評価等の結果から

昨年末に実施した保護者・生徒の学校評価アンケートの集計がまとまりました。詳細は裏面を御覧ください。結果を考察する上で次の4点に着目して比較しています。

1. 本校の基準に照らした平均値の状況はどうか ⇒ [3.1pt ≤ 普通, 3.4pt ≤ 良い, 3.7pt ≤ 大変良い]
2. 前年度との比較で0.2pt以上の変動があるか
3. △と×を選択した人数が評価全体の10%以下か
4. 生徒の評価で気になることはないか

以上の点で、基準値以下の項目はなく、昨年度と同等またはそれ以上の値となっています。しかし、「Ⅶ 健康・体力」の生徒評価が12.7%と、昨年度同様に10%を超える値が出ている点が課題と考えます。コロナ感染拡大に伴う活動制限や運動自粛などの対策を取らざるを得ない場面があったことに加え、12月の学校だよりも取り上げた、県立保健大学のアンケートから見えてきた「生活リズムや食生活の乱れ」なども要因の一つと見ています。個々のパフォーマンスを最大限発揮するためにも、心身共に健康な体づくりは大切です。来年度の重点指導項目の一つとして、取り組んでいきます。

今年度の重点としてきた「特別活動」「小中一貫・連携教育」「保護者・地域連携」「広報・情報提供」は、わずかずつでも評価値が上がりました。一方で、本校が各種アンケートの達成目標としている「◎(大変よい)40%超え、○(概ねよい)との合算で90%超え」の基準に達していない項目も複数あります。特に「Ⅱ 学習指導」と「Ⅸ 特別支援教育」については、学びのICT化推進と併せて、わかる授業や楽しく効果を上げる学習方法、学習の進め方(AI型ドリルの活用と個別最適な学習)等方策を考え、実践に向けて取組を積み重ねる必要があります。今後も、コロナ禍で失ったものを取り戻す努力をしながら、得たものを大事に、より発展させられるように柔軟な発想で学校運営を進めてまいります。御理解と御協力をお願いします。

《令和5年度重点指導項目》(案)

[知] 1 学力の育成 (①学修保障と学力保障 ②ICT教育と情報活用・発信能力の育成)

2 小中一貫・連携教育の取組推進 (指定3年目、公开发表会)

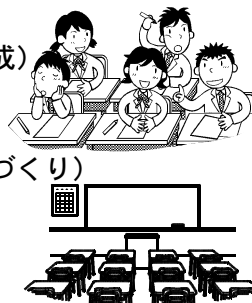
[徳] 1 自他の尊重 (①いじめ防止 ②生徒会活動の活性化 ③容儀指導)

2 望ましい生活習慣 (①健全な生活リズムの確立 ②ネットモラル指導とルールづくり)

3 社会参画意識と態度の育成 (①持続可能な社会形成 ②人財育成)

[体] 1 心身の健康・安全管理意識の向上 (①健康教育 ②防災教育)

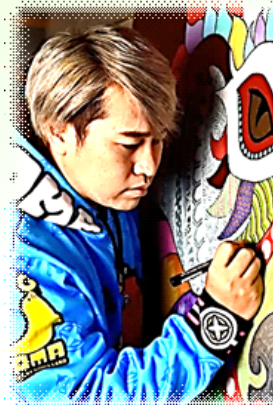
2 安心・安全な学校生活の推進 (居場所づくり・絆づくり)



『なりたい自分を形にする』とは ～全校集会講話<養護教諭:珍田>

アーティストのGOMAさんの「自分らしく生きるために」というテーマの講演会に参加しました。実はGOMAさん、文字が読めない、という障がいをもっています。作品は数々あります。青森市内の小学校の玄関の靴箱にも、たくさんの動物の絵が描いてあります。「文字が読める子どもばかりではない」からです。幼少期は、友だちもいないし、変なやつと思われていて、笑った写真は1枚もない、それなのに大人は助けてくれない、生きている意味もわかりませんでした。その後、保育士として何年か勤務するも多くの失敗をしています。でも、子どもたちと一緒にいると「自分が必要とされてる」と感じられ、「仕事」が「役割」になりました。もうそれは「生きている意味」です。ずっと学校の勉強は嫌でしたが、初めて絵を「勉強したい」という気持ちになりました。念願のアーティストになってからは、全然売れなくても「あきらめることをやめた」。好きな絵を仕事にすることは、8割は大変なこと。好きだから我慢できるし、2割でも楽しいことが待っているから頑張れる。GOMAさんいわく、『人はできない、やらない言い訳をたくさんする。そうではなく、「やる言い訳を作る」ことが大事！「明日やろうはバカヤロウ」。楽な道は選ばず、売れなくても、ぶれることなく、とにかく毎日毎日絵を描いた。それが自分に嘘をつかないこと。』だと。こういう考えや行動が今のGOMAさんをつくっています。

浦町中で実施したアンケートでは、全校生徒約447人中160人以上の人が自分に不満がある、自分の生き方が好きじゃない、と答えています。約40%です。今、何をしたらいいんだろうと悩んでいるのか、もっともっと好きな自分になろうとしているのか…。『そこで悩んでいる子どもがいるんだったら、もちろん「決めるのは本人」だけど「選択肢を与えるのが大人」だ。』というGOMAさんの言葉が胸に刺さりました。



GOMA

- >青森県弘前市出身
- >36歳
- >元保育士
- >(株)GOMALABO創設者
- >職業：アーティスト
- >保育士のための絵画講師
- >スノーボード全日本選手
- >ミラノサローネ
- APPLE DESINAOERD
- 世界2位審査員特別賞受賞
- >国連宇宙週間コラボ展示会
- MOON開催

【1月の栄光の記録】

【第36回青森県中学校選抜美術展】入選

3年:工藤日菜乃、小野陽菜夏

2年:國分せいら、木谷 瑠玖

1年:藤井 さら、藤井 せら、竹内 湧也、佐々木友里

【第44回東青中学校ソフトテニスインドア大会】

第5位 高山柚希乃、今川 渚月

【第20回青森県中学校冬季バドミントン選手権大会】

男子シングルス 第3位 金田 煌永



R5/1/7 浦町スノーバスターズ

積雪時の生徒の安全確保について

10年に一度の記録的寒波襲来のニュースが連日流れています。学区内の危険箇所については適宜見回りを行い、必要に応じて関係機関へ除排雪をお願いしておりますが、万全ではありません。

毎年、登下校中の雪だまりでの転倒、歩道がなく車道を歩くことで車と接触するなどの事案が複数件発生しております。今後は、雪底や屋根雪の落雪、流雪溝への転落など、命に関わる重大事故も心配されます。

学校でも時間に余裕を持った行動や雪道歩行について指導しておりますが、御家庭や地域におかれましては、子どもたちの通学路の状況把握など、安全確保について御協力をお願いします。気になることがありましたら、お手数でも学校までお知らせください。

■保護者の皆様へのお願い

- 1 外靴の滑り止め機能は大丈夫か。
- 2 普段利用する通学路の状況は安全であるか。
除排雪は？ 道路の見通しは？ 落雪の危険は？
- 3 子どもは時間に余裕を持って行動しているか。

2月の主な行事予定

- 1日(水) 引落日②、S C来校日
- 2日(木) 代議員会
- 3日(金) 3年期末テスト、地域懇談会(中止)
- 6日(月) 全校集会(リモート)
- 7日(火) 学習強調週間～16日、私立受検事前指導
- 9日(木) 私立高校一般受検
- 10日(金) 新入生・保護者説明会
- 12日(日) テスト前部活動停止期間～16日
- 13日(月) S C来校日
- 15日(水) 教育委員会学校訪問
- 16日(木) 私立高校合格発表日
- 17日(金) 1・2年期末テスト、3年模擬テスト⑧
- 20日(月) 学校運営協議会⑥
- 22日(水) 教室他ワックス掛け
- 24日(金) 引落日①
- 27日(月) 全校集会(リモート)、S C来校日
- 28日(火) 1・2年PTA例会&授業参観